



2022年3月期 第3四半期

(2021年4月1日 ~ 2021年12月31日)

決算説明資料

ENOMOTO Co.,Ltd.

東証一部 証券コード:6928

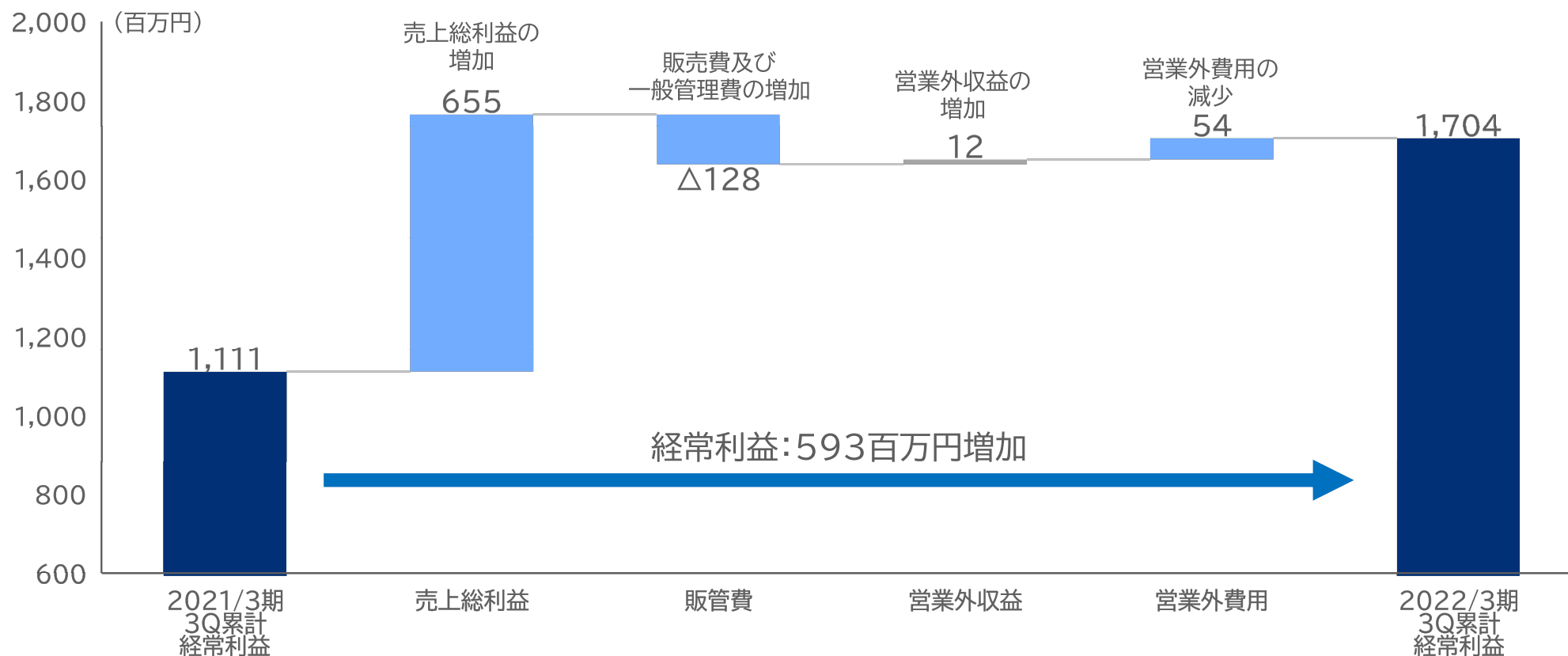
- ・ 前年度下期からの世界的な自動車及び産業用機器の需要回復に加え、自動車のEV化やADASの進化及びDX・GXなどの社会革新を支えるパワー半導体への強い需要が追い風に
- ・ スマートフォンやウェアラブル端末などへの消費マインドは改善基調が継続
- ・ 銅などの素材高は売価に概ね転嫁できており仕入価格上昇分が売上高を引き上げたが、売上利益率の上昇は鈍化

	2021/3期 3Q累計		2022/3期 3Q累計		期比較	
	実績 (百万円)	売上比 (%)	実績 (百万円)	売上比 (%)	前年同期比 (%)	売上比増減 (pt)
売上高	16,761	100.0	20,707	100.0	+23.5	-
売上総利益	2,772	16.5	3,427	16.6	+23.6	+0.1
販管費	1,663	9.9	1,792	8.7	+7.7	△1.2
営業利益	1,108	6.6	1,635	7.9	+47.5	+1.3
為替差損益	△49	-	15	-	-	-
経常利益	1,111	6.6	1,704	8.2	+53.3	+1.6
当期純利益	932	5.6	1,221	5.9	+31.0	+0.3

- ・ IC・トランジスタ用リードフレームは、自動車向けや産業用機械向けを中心にパワー半導体向けが好調を継続
- ・ オプト用リードフレームは、交通インフラをはじめディスプレイ向けや自動車向けのLEDを中心に需要増加
- ・ コネクタ用部品は、スマートフォンは季節要因もありピークアウトも、ウェアラブル端末は復調、車載も堅調に推移

単位:百万円	2021/3期						2022/3期				
	1Q	2Q	3Q	3Q 累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	3Q 累計	前年 同期比
IC・トランジスタ用 リードフレーム	1,735	1,516	1,911	5,163	2,123	7,287	2,380	2,288	2,614	7,283	+41.0%
オプト用 リードフレーム	678	615	530	1,824	814	2,639	969	921	878	2,769	+51.8%
コネクタ用部品	2,530	3,054	3,686	9,271	3,112	12,384	3,320	3,440	3,353	10,115	+9.1%
その他	168	164	168	501	187	688	195	198	145	538	+7.5%
合計	5,113	5,351	6,296	16,761	6,238	22,999	6,866	6,848	6,992	20,707	+23.5%

- 売上総利益の増加 … リードフレーム、コネクタ用部品共に前下期からの回復と市場成長
- 販売費及び一般管理費の増加 … ①取引量の増大と物流単価の上昇による運賃搬送費の増加
②業務効率化を目的としたIoT関連機器購入費用が一時的に増加
- 営業外損益の増減 … 為替差益の増加 及び 債権売却損の減少



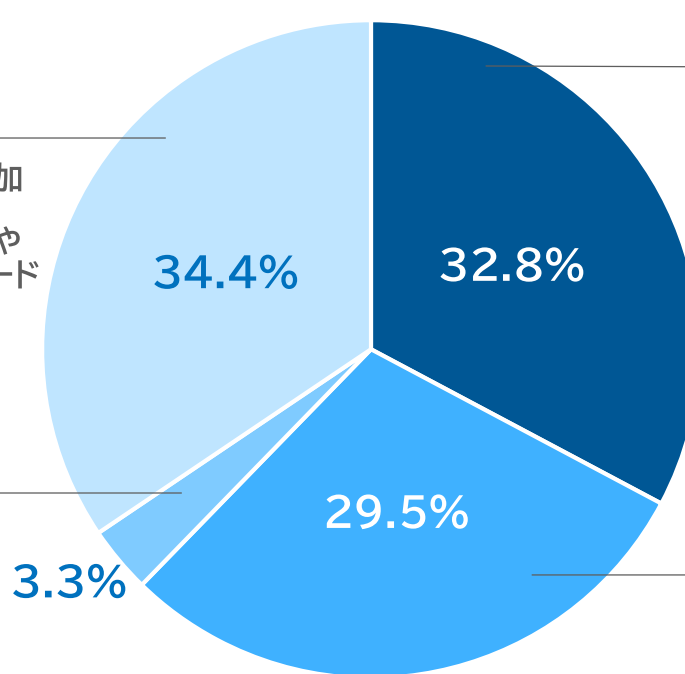
- ・ 車載、民生・産機・その他がそれぞれ堅調に推移し、本来の各分野1/3ずつという配分に回帰
- ・ 上期に新商品発売前で一時的に調整が入ったウェアラブル向けも、市場は成長中であり下期より来期に向け復調

民生・産機・その他

- ・ 構成比は前年同期の29.2%から 5.2pt増加
- ・ 汎用的用途のパワー半導体用リードフレームや交通インフラ等のディスプレイ向けLED用リードフレームなどの売上が増加

ウェアラブル

- ・ 構成比は前年同期の6.2%から 2.9pt減少
- ・ 季節的要因および昨年後半以降の急伸から一時的な調整局面だが10月頃から回復基調



車載

- ・ 構成比は前年同期の28.2%から 4.6pt増加
- ・ 車載部品の需要回復と市場成長によりパワー半導体用リードフレーム及びエアバッグ用コネクタ等の売上が増加

スマートフォン

- ・ 構成比は前年同期の36.4%から 6.9pt減少
- ・ 当期モデルは立ち上がり早く1Qから出荷開始
- ・ 季節要因により12月頃からピークアウト

※上方修正(10月29日に続き、当期2度目の上方修正)

- ・ リードフレーム・コネクタ用部品の需要は、パワー半導体やポータブル機器等の中長期的な成長から高水準を維持
- ・ 下期に発生を見込んでいた在庫調整および季節調整の影響が想定以下に留まる見込みのため上方修正
- ・ 2021年5月に発表した中期経営計画の数値目標については、見直し後に速やかに公表予定

	2021/3期			2022/3期				期比較	
	上期実績 (百万円)	通期実績 (百万円)	売上比 (%)	上期実績 (百万円)	前回予想 (百万円)	修正予想 (百万円)	売上比 (%)	前期比 (%)	売上比増減 (pt)
売上高	10,464	22,999	100.0	13,714	26,500	27,000	100.0	+17.4	-
売上総利益	1,545	3,815	16.6	2,283	4,150	4,400	16.3	+15.3	△0.3
販管費	1,097	2,252	9.8	1,132	2,250	2,400	8.9	+6.6	△0.9
営業利益	448	1,563	6.8	1,151	1,900	2,000	7.4	+28.0	+0.6
経常利益	459	1,561	6.8	1,166	1,900	2,050	7.6	+31.3	+0.8
当期純利益	332	1,489	6.5	848	1,500	1,550	5.7	+4.1	△0.8
1株当たり 純利益	221.66円		-	222.87円		232.37円	-	-	-

津軽工場増築エリア 竣工

- ・ 津軽工場増築は計画通り11月末竣工し、年明けより稼働を開始
- ・ スマートフォンやウェアラブルデバイス等に向けた最先端製品と、メッキ加工の生産能力増強



※白い屋根の部分が今回の増築エリアとなります。



プレスライン



成形ライン

既存工場床面積	: 約 8,776㎡
増築工場床面積(予定)	: 約 7,162㎡
増築後の工場床面積	: 約 15,938㎡
総投資額(概算)	: 31億円

(建物及び機械、設備等)

注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。